

2019年7月17日

■ 取材のご案内 ■

国連が「2050年にはAMRで年1000万人が死亡する事態」と警告

かぜの処方ば“薬剤耐性対策”の第一歩！

厚生労働省委託事業

AMR対策臨床セミナー ⑩ 岐阜

「かぜ診療ブラッシュアップコース」

日時 ■ 2019年7月27日(土) 15:00 開演

(開場 14:30 終了 18:00) ※途中入退出可

会場 ■ ホテルリソル岐阜 6F 雪音 (西)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター

薬剤耐性菌の増加が世界的に大きな問題となっており、抗菌薬の不適切な使用がその一因とされます。AMR臨床リファレンスセンターでは「薬剤耐性(AMR) 対策アクションプラン」に掲げられた目標のひとつである抗菌薬の適正使用を、日常的によくある疾患の「かぜ診療」において推進するため、医師を対象とした「かぜ診療ブラッシュアップコース」を各地で開催しています。今回、岐阜県においては初の開催となり、県内の医師のみなさまが参加予定です。

「かぜに抗菌薬(抗生物質)は効かない！」にもかかわらず、抗菌薬の処方を求める患者が数多くいる…など 外来診療では患者との意思疎通に苦勞が絶えません。本セミナーでは、患者とのコミュニケーションを図るためのスキルをロールプレイを織り交ぜながら教示し、これまでの「かぜ診療」を見直していきます。

この機会に報道関係のみなさまにもご取材をいただき、メディアを通じて広く「薬剤耐性」を知る機会をつくっていただければ幸いです。ご多忙とは存じますが、ぜひご来場を賜りますようお願い申し上げます。

AMR対策の必要性 ～抗菌薬(抗生物質)は不適切な使用により、本当に必要な時に効果が低くなる～

抗菌薬(抗生物質)は細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする薬です。しかし、細菌もさまざまな手段を使って生き延びようとします。本来ならば効くはずの薬が効かなくなること、**「薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial resistance) 」**とといいます。2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、**危機的状況にあるとして各国に対策を勧告***しています。日本では、外来での抗菌薬使用が9割以上を占めており、外来診療で抗菌薬の適正使用を推進することが不可欠といえます。

* <https://news.un.org/en/story/2019/04/1037471>
No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections
Report to the Secretary-General of the United Nations April 2019

薬剤耐性(AMR)情報サイト

AMRかしこく 検索

<http://amr.ncgm.go.jp/>



返信先 ▶ AMRCRC広報事務局
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛

FAX返信番号 ▶ 03-3571-5380

AMR対策臨床セミナー in 岐阜

厚生労働省委託事業

「かぜ診療ブラッシュアップコース」

日時 ■ 2019年7月27日(土) 15:00 開演 (開場 14:30 終了 18:00)

会場 ■ ホテルリソル岐阜 6F 雪音 (西)

講演プログラム

- 薬剤耐性(AMR)の現状
- 急性気道感染症の診断・薬物治療・効果的な説明

【講師】

黒田 浩一 神戸市立医療センター中央市民病院 感染症科
具 芳明 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長
藤友 結実子 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 主任研究員

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、7月25日(木)までにご返信ください。

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
貴社名		
貴メディア名		
貴部署名	他 名	
ご芳名	<input type="checkbox"/> スチール	<input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> 無し
撮影機材	TEL e-mail	FAX
ご連絡先		
ご要望等		

会場

岐阜県岐阜市長住町5-8 TEL:058-262-9269

アクセス

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅 徒歩5分

